

授業科目名・形態	介護過程Ⅳ 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	山田 克宏	実務経験の有無	有	開講期	2年後期

【授業の主題】

本人の望む生活の実現に向けて、生活課題の分析を行い、根拠に基づく介護実践を行うための思考過程を学ぶ。介護過程とは、「生活の場」に違いがあっても、利用者の望む「より良い生活」の実現・継続ができるように支援する仕組みである。ここでは、介護過程のプロセスについて学ぶとともに、チームアプローチの必要性・重要性について学ぶ。

【到達目標】

- 1) 他の科目で学習した知識や技術を活かして、介護過程を展開できる。
- 2) 個別性に基づく介護計画を立案して適切な介護サービスの提供ができる能力を身につける。
- 3) 生活の場の違いにも理解を深めながら、それぞれの事例に根拠に基づく介護実践について説明できる。
- 4) 一連の学習からチームアプローチの意味や意義を説明できる。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 介護過程の実践的展開
- 第 2 回 入所施設における介護過程の展開の理解：情報収集とアセスメント
- 第 3 回 入所施設における介護過程の展開の理解：情報の統合化
- 第 4 回 入所施設における介護過程の展開の理解：生活支援を行うための課題の分析・統合化
- 第 5 回 入所施設における介護過程の展開の理解：生活支援を行うための介護目標の設定
- 第 6 回 入所施設における介護過程の展開の理解：計画の立案①(課題の分析・統合化・目標設定)、(個人ワーク)
- 第 7 回 入所施設における介護過程の展開の理解：計画の立案②(グループワーク)
- 第 8 回 入所施設における介護過程の展開の理解：介護計画の発表
- 第 9 回 入所施設における介護過程の展開の理解：介護計画の策定過程を発表
- 第 10 回 「事例」に基づいた介護過程の展開の理解
- 第 11 回 介護計画作成のプロセス①(計画)
- 第 12 回 介護計画作成のプロセス②(実施・評価)
- 第 13 回 介護過程のプロセス③(ケアカンファレンス)
- 第 14 回 グループ発表、質疑応答
- 第 15 回 グループ発表、まとめ

【授業実施方法】

講義・個人ワーク・グループワーク

【授業準備】

事例への理解を深めながら、生活の場の違いや個別性に基づいた生活支援のあり方について学習を深める。

【主な関連する科目】

介護総合演習、介護の基本

【教科書等】

介護過程 (新・介護福祉士養成講座9 中央法規)

【参考文献】

一番ヶ瀬康子監修：介護福祉職にいま何が求められているか、ミネルヴァ書房、1997年

【成績評価方法】

講義・演習への態度(20%)、レポート(80%)

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

私は、通所介護事業所において介護業務・相談援助業務のなかで、クライアントの思いに基づき「その人らしい」生活支援をおこなってきた。そのような臨床経験に基づき、介護過程の展開についてともに学んでいきたい。

【学生へのメッセージ】

講義や事例での学びから「利用者の望む生活」を考えていくなかで介護サービスの提供の方法、クライアントの思いを受け止める態度、ニーズの把握・課題分析を理解し、介護計画を立ててみる。そのことを通じて、介護実習Ⅱ・Ⅲで学ぶべき視点・目標を設定に繋げていけるようにがんばっていきましょう。